



TCB Council Inc.

これからのワイヤレス社会に向けて
規制遵守についての知識を共有する

TCB Councilによる最近の活動

William Graff 名誉理事長

TCBとは?

- 電子通信認証機関 (Telecommunications Certification Body: TCB)
 - ISO/IEC 17065 (および17025) 認証取得
 - FCCによる指定機関
 - FCCから米国向け機器認証書発行の認可を取得
 - 2000年にTCBプログラムを開始
 - 今日では、米国、欧州およびアジアにおけるTCBがすべてのFCC認証を発行
 - 多数のTCBがカナダでの機器認証証明書発行の認可も取得



教育資源としてのTCB Council

- 目的：これからのワイヤレス社会に向けて規制遵守についての知識を共有する
- FCCとTCB、試験所および製造業者との橋渡しをすべく結成されたグループ
- 年2回のワークショップの開催と後援
- FCCとTCBとの月例会議を招集
- 各種オンライントレーニングセッションの策定と提供
- 規則、方針、KDB出版物の提案に関する意見をFCCに提供



TCB Council

- ISED (IC)、MIC、KCC、NIST、ANSI、REDCA、BEISなど他の規制団体、機関および業界団体との協働
- 現在の構成：人員：1814名
 - TCB 573名
 - 協賛会員 1111名
 - 政府職員 130名
- TCB法人会員：40
- 協賛法人会員：165
- 政府機関：16



TCB Council理事会

- 2023-2025年選出の現職理事

Gregory Czumak (理事長)

Nicholas Abbondante (副理事長)

Bill Graff (財務担当)

Bruno Clavier (秘書官)

Mark Briggs

Michael Derby

Dirk Brandhorst

Steve Koster

Robert Paxman

(次回選挙は2025年春に実施)

❖ 常任理事：Chris Harvey (非選出、議決権なし)



TCB Council委員会

- TCBCは、必要とされる様々な課題に取り組む委員会（全会員に公開）を設置
 - 一部の委員会は長期間にわたって一定の活動を継続している
 - 他の委員会は短期間に多くの作業をこなすが、必要に応じた状況においてのみ招集される
 - TCBC委員会リストは以下のとおり
 - 活動中の委員会による最近の活動の概略を以下に示す



Current TCB Council 委員会

定款委員会
C63規格検討委員会
教育委員会
イベント企画委員会
財務委員会
公平性委員会
モジュール協議委員会
規則・方針委員会
奨学金委員会
監視委員会
試験／データ削減委員会



定款委員会

- **このグループは、現在TCB Council定款の更新・改定に取り組んでいる。改定には以下の内容を含む。**
 - 各種事業体可以利用できる会員資格の種類
 - 理事会の構成と資格
 - 欠員理事の扱い
 - 法的検討にもとづく改正案には、会員の投票による承認を必須とする
- **書き換えと検討作業は現在も継続中。**
最終稿には、TCB全会員による承認が必須。



教育委員会

- 年2回のTCBワークショップやその他のトレーニングセッションを企画・運営する月例会議を毎年開催し、継続的に活動している
 - ワークショップの1日目と3日目のアジェンダを企画（2日目はFCCプレゼンテーションに専念）
 - 会員に影響する最先端の課題に関し、各分野の専門家に連絡を取り、プレゼンテーションやパネルディスカッションへの協力や参加を要請する



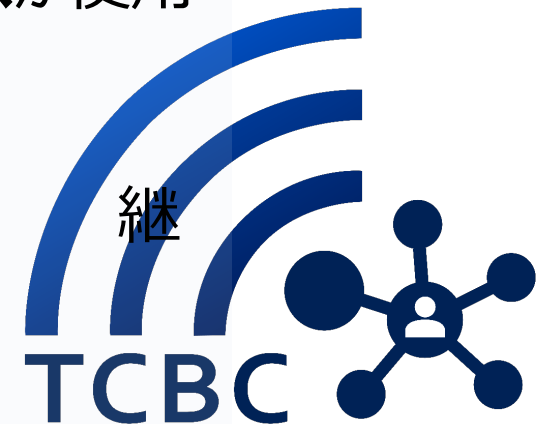
モジュール協議委員会

- **モジュール認定KDBパブリケーション996369の最新改訂に関するFCC 試験所へのコメントの策定と提出に取り組んだ**
 - モジュール協議委員会の意見がパブリケーション更新の基礎となった
 - KDB 996369の最終版を現在FCCに申請中
 - 100名程度で構成される最大常設委員会
- **新解釈（2023年10月24日）**
 - D01 モジュール認証ガイド
 - D02 モジュールQ & A



規則・方針委員会

- KDB 447498(D04)中間一般RF曝露ガイダンスv01をレビューした際、FCC試験所への複数のコメント策定に取り組んだ
 - 47CFRセクション1.1307、2.1091および2.1093におけるRF曝露規則には一連の変更が加えられている
 - 大半の試験所では、すでに「新」中間一般RF曝露ガイダンスが使用されている
 - 正式には、新ガイダンスは任意であり、まだ必須ではない
 - 今後通知があるまで447498(D01)v06にもとづく旧方針を継続して使用することができる



奨学金委員会

- 奨学金委員会は、毎年数か月間TCB Council Marianne Bosley記念奨学金の年間受賞者を決定する会議を開催する
 - STEM分野（科学、技術、工学および数学）を専攻する現TCB Council会員の近親者に最高5000ドルの個人奨学金が授与される



奨学金委員会

- **奨学金の授与は2016年から継続している**
 - 2016年 - 3件
 - 2017年 - 4件
 - 2018年 - 4件
 - 2019年 - 6件
 - 2020年 - 5件
 - 2021年 - 6件
 - 2022年 - 7件
 - 2023年 - 5件
- **奨学金の合計は8年間で40件**
- **最高金額は5000ドル**



監視委員会

- **助成金交付後の市場監視試験をさらに円滑かつ効果的にする方法について、FCC（およびISED）に提出するコメントや提案を策定する会議を開催する**
 - 監視委員会は、さらに効果的な監視試験プログラムを促進するために、TCB・試験所および製造業者向けの一連のベストプラクティスを策定すべく最近のTCBワークショップで設立された



イベント企画委員会

- **ワークショップ中の夜に開催される社交イベントを主催するため、TCB ワorkshop前の数か月間会議を行った**
 - パンデミックで遅延した（2年遅れ） 2022年の20周年記念祭前に集中的に会議を実施した
 - FCCとTCBCの歴代会員が表彰された
 - （皆で楽しい時間を過ごしました！）



TCBC20周年記念祭



直近の活動: FCC 22-84

- FCC 22-84（機器認証プログラムによる通信サプライチェーンへの国家安全保障上の脅威からの防護）が2023年2月6日連邦官報に掲載された
- 新規則は公表後直ちに施行された
- さらに、報告書および命令書には、新規則の拡大に関するコメントおよび返信コメントを求める規則制定案の追加通知を含む



直近の活動: FCC 22-84

- TCBの観点では、機器認証プログラムに直ちに影響を及ぼす主な新規則が2つある
 - TCBが認証書を発行できない企業を特定し、その企業が製造する特定のタイプの機器を掲載した「対象リスト」を導入する
 - 各認証デバイスについて、米国に所在する**送達米国代理人**が要件とされる
 - FCCは最近当該新要件事項の詳細な説明を示すKDB 986446を発行した



直近の活動: FCC 22-84

- FCC OETの最高管理職と試験所職員がTCB Council理事との会議をFCC 22-84の連邦官報掲載前の数か月間に2回行い、新たな要件についての理事の理解を確認し、TCBの観点における新たな要件の実施にまつわる課題の一部について理事から聴取した
 - 理事は、TCB Councilの全会員（TCB、試験所および製造業者）へのこの新要件に関する情報の周知に取り組んでいる



次回TCBワークショップ

- 次回TCB Councilワークショップは対面またはオンラインで **2024年4月16～18日**にバルチモアで開催。3日間のプログラムにおいて最新の技術的知見や業界トレンドに関する情報が提供される
- ワークショップはリアルタイムのビデオ会議としても提供される
- 登録については当社のウェブサイトをご参照ください
 - <https://www.tcbCouncil.org/>



ご不明な点は？

このプレゼンテーションについてのご質問はございますか？





TCB Council Inc.

これからのワイヤレス社会に向けて
規制遵守についての知識を共有する

ご清聴ありがとうございました。

Gregory Czumak

TCB Council

理事会理事長

gczumak@acbcert.com

<https://www.tbcouncil.org/>